

も、我慢できないほどの苦味を感じるものである。

9. 変形：1970年代以後の生食用に200gをこえ、かつ変形した芋が目立つようになった。これを技術の向上で多収になった弊害としか受けとめていない。だがコブ芋、出目芋、ワレ芋のほとんどはクロアザ病による被害といってよい。クロアザ病にかかると、芋への同化産物や養水分の転流が不順になり、ちょうど生理的二次生長を発生するような条件が頻繁におこり、これらの変形を生ずる。早いときは芋の肥大開始期と同時に、これらの変形が始まっている。

全国的に半数以上の株、ときには全株がクロアザ病にかかっているほ場があり、ほとんどはこの病害を知らず、特定の株に変形があるのに「二次生長」といって終らせている。二次生長というのは比較的乾燥が続く、芋の成熟が強いられるとき、長雨があって茎葉に

二次生長がおきると、芋の目が動きだして変形を誘発するが、それはほ場全体におきる。

クロアザ病は土壌病害で、種芋で持ち込まれるから、良質種芋の入手・消毒と、輪作確立・完熟堆肥のすき込みを対策とする。

クロアザ病株の変形芋と健全芋のでん粉価を調査したところ、前者は後者に比べて2～3%低かった。それで今後は多少の変形を出荷する場合、14%未満のものは除外したい。

10. 粒ぞろい：ダンボールの表示と中身に差があってはならない。大きめのが1割あれば1点減点、小さめが2個あれば5点減点の範囲で評価する。

だが消費者に「函単位で買いS玉はベーكد、M玉は肉ジャガや塩煮、L玉はチップスやカレー用、2Lはフレンチフライ用に使い分ける」ことをすすめ、こみ玉で流通する時代になってほしいものである。

〈ポテトジョーク アラカルト〉

◎ 等しく分けるには

ある小学校での分数の時間

先生 「もしも、ふかしたての8個のジャガイモを持っていたとして、6人で分けるとすると、君ならどうしますか」

生徒 「はい先生、マッシュポテトにしてから分けます」

◎ パルマンティエ

ルノー工場で、労働者が何人か弁当を食べながら話していた。

「ゲーテンベルクって、どんな人かしっているか？」……「いや」

「皆も僕のように、夜の学習会に行けばわかるよ。印刷術を発明した人さ。ではパルマンティエを知っているか？」

「知らん」とみんな。

「ジャガイモの栽培を広めた人さ。夜の勉強に行かないと、一生無学だよ」

すると、一人の溶接工が言った。

「だったら、お前。トトシュって誰か知っているのか」……「知らん」

「よし、トトシュてのはな、お前が学習に行っている間、お前の女房と寝ている奴よ」

(フランスジョーク)

◎ ジャガイモ

時計の売り込みで、ソビエトに旅したスイス人。どこへいっても、食卓を飾るのはジャガイモばかりで、うんざり。

モスクワのレストランで、皿に山盛りのポテト・ピューレを前にしたときには、ついにフォークをつける勇気もうせていた。

シェフ「わたしの料理が食べれないとでも言うのですか」

そこは心優しいスイス人のこと、「とんでもない。わが国民もジャガイモは大の好物ですよ」

「それじゃひとつ、スイス風ジャガイモ料理を御教授願えませんか」

「まったく簡単なことですよ。まずジャガイモを豚にやります。それから、豚を食べます」

(スイスジョーク)